

助言者講評

神奈川県立大井高等学校校長 込山 宣子

小田原城北工業高等学校 PTA の皆様、活動報告と取組のご発表をありがとうございました。

皆様もご存知のとおり、小田原城北工業高校と大井高校は令和 8 年 4 月より再編統合され、新しい道を歩んでいきます。新しい高校は、小田原城北工業高校の流れをくむ工業科（機械・電気・建設・デザイン）と、大井高校の流れをくむ普通科（クリエイティブスクール）の併置校となります。二つの流れが一つの大きな流れになるといったイメージでとらえていただきたいと思います。今まで両校で取り組んできた教育活動の良いところを発展させるとともに、工業科と普通科の教育が融合してよりよい教育ができるようにと、現在、知恵を絞って開校に向けて進んでいるところです。そのような中で、今回の発表を拝聴できましたこと、また講評をさせていただけることを誠に光栄に思っております。

学校紹介におかれましては、専門学科高校の特色を生かした教育と、地域との協働を大切に育てられた教育、そしてそれらに支えられた生徒の活動が生き生きと伝わってきました。頭と体を動かして高校生活を送る生徒の様子がよくわかりました。また PTA として生徒の成長を支援するという活動もよく行われていると感じました。再編統合の打合せもあり、最近では 1 か月に 1～2 度は小田原城北工業高校にお邪魔しているのですが、生徒は元気に挨拶をしてくれます。また、先日は塗装されたパッカー車を見ることもできました。あのような大きな車体にデザインをし、色を付けるのは大変なことだろうと思います。また、「夢をかなえる」という素敵なフレーズがデザインされたジョウホ君（小田原城北工業高校のキャラクター）T シャツなどもよく考えられてい

ました。

また、PTA の活動におかれましては、各委員会が伝統を引き継ぎながら一つひとつの活動を大切に行っていられっやることが印象的でした。

広報委員会では年 4 回の広報誌の発行ということで、学校へ足を運ぶことの楽しさが伝わってきました。環境整備委員会では、入学式のお花で花壇を作るなど、SDG s に配慮した活動をされていました。生活指導委員会では下校調査をすることで保護者の視点からの交通安全を提言できることが素晴らしいと思いました。成人教育委員会ではコロナ禍以降は年 1 回の行事となってしまうそうですが、PTA 会員同士の親睦が深まる大切な行事だと何うことができました。学年委員会ではコミュニケーションを図ることを大切に学年通信の発行や、各種説明会などの運営・受付も行うなど、積極的な活動が報告されました

さらに、全国的な課題となっている PTA 役員募集の手法について、よく検討されていると思いました。郵送で呼びかけ、返信をいただくというスタイルでしたが、87.8%の方々が役員を引き受けてくださっているということです。更に素晴らしかったのは、課題解決に向けた動きが早く、郵送は公平ではないのではという意見があったので、公平性を配慮して、Google フォームのアンケートにしようとして話し合いを進めているということでした。

最後に再編・統合に向け、規約や私費等につきまして検討を進めていきます。また学校行事や部活動等についても生徒同士は交流を始めています。PTA 同士の交流もこれから始まると思います。これからのよりよい関係づくりになりますように手をつないでがんばっていきましょう。どうぞよろしく願いいたします。